

今週のビルマのニュース 2010年7月16日【1027号】

選挙運動に厳しい制約 投票日の新たな予想

・総選挙に参加予定の諸政党は、軍政の連邦団結発展党 (USDP) を除き、選挙運動に様々な制約を受けている。党員を募り政策を説明するための集会を開くには事前に許可が要り、集会には私服警官や情報局員が来るため、参加者が怖がって立ち去ることも多いという。候補者1人につき50万チャット (約500ドル) を納めなければならないことも負担。しかしラングーン (ヤンゴン) 市当局は今月に入り、市内の市場での寄付金集めを禁止した。現時点で43の政党が総選挙に参加する予定 (14日イラワディ、12日ミジマほか)。

・総選挙の投票が、これまで推定されていた10月ではなく、12月以降に行われるとの情報がある。選挙に参加予定の政党役員が選挙管理委員会委員から聞いた話としてイラワディ誌が伝えた (15日同誌)。

軍政の翼賛団体が「廃止」 政党に一本化へ

・軍政の大衆翼賛団体・連邦団結発展協会 (USDA) のミンウー氏は15日、BBCビルマ語放送局の取材に対し「USDAは段階的に廃止される」と述べた。USDAの資産は既に新党・連邦団結発展党 (USDP) に移されたという。USDA廃止について国営紙はまだ報道していない (16日イラワディ)。

【背景】USDAは1993年に設立された軍政の翼賛団体で、タンシュエ上級大將など軍政高官が幹部に名を連ねる。USDPは今年4月に首相以下閣僚・副大臣26人が結成し、6月に政党として認められた。

スーチー氏の元側近が14年ぶりに解放

・政治囚支援協会によれば、民主化運動指導者アウンサンスーチー氏の元側近で政治囚として約14年間収容されていたウィンティン氏 (68) が15日、ザガイン管区の刑務所から解放された。氏は2008年9月の恩赦で一旦解放されたものの、解放直後に亡命メディア「ビルマ民主の声」 (DVB) によるインタビューに答えて軍政起案の2008年憲法を批判したところ、すぐに再逮捕された (15日ミジマ)。
*NLDのウィンティン氏 (80) とは別人。

国民民主勢力 (NDF) 政党登録を認められる

・選挙管理委員会は、5月に解党した国民民主連盟 (NLD) の元党員らが結成した新党・国民民主勢力 (NDF) の政党登録を承認した (9日AFPほか)。

注目の記事

・国民民主勢力 (NDF) タンニェイン議長のインタビュー (14日イラワディ)
http://www.irrawaddy.org/article.php?art_id=18964

・「地獄で雪が降るよりもありえない」? ~ビルマ (ミャンマー) 総選挙についての発言集 ツツ大主教ほか。総選挙についての政府や国際機関、著名人などの発言をビルマ情報ネットワークがまとめた。
<http://www.burmainfo.org>

ビルマへの政府開発援助 (ODA) 約束状況など

21世紀青少年大交流計画 (JENESYS) の下、ビルマのICTエンジニア24人が13日から21日まで日本を訪問 (9日外務省)。

イベント情報

・総選挙に反対・国連事務総長にアウンサンスーチー氏と全政治囚の釈放と対話の促進を軍政に働きかけるよう求めるアピール行動 在日ビルマ人共同行動実行委員会 (国連大学前、7月毎火曜 15~16時)

・第22回愛知サマーセミナー ドキュメンタリー『ピュア ビルマ難民キャンプの子どもたち』上映 (椋山女学園西館3階313教室、19日11時10分)

・ビルマ市民フォーラム例会 (池袋・ECOとしま8階、31日18時~)

・第53回メコン談話室「軍事政権下のビルマに行く? 行かない? ~最新のビルマの写真をまじえて」 (新宿・常圓寺、2010年8月19日18時半~)

もっと詳しい情報は

☆Twitter公式アカウントはこちらです
<http://twitter.com/BurmaInfoJapan>

きょうのビルマのニュース (平日毎日更新)
<http://www.burmainfo.org/news/today.php?mode=2>

ビルマ情報ネットワーク
<http://www.burmainfo.org>

<p>お問い合わせ ビルマ情報ネットワーク 秋元由紀 yuki@burmainfo.org 080-2006-0165</p>
